

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR部長 (氏名) 中村 隆晴

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	99,699		4,614		4,586		2,757	
20年3月期第1四半期	99,830	8.1	5,929	27.9	5,966	22.4	3,188	4.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	14.25	14.25
20年3月期第1四半期	16.47	16.46

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	372,169	202,904	45.9	883.55
20年3月期	342,287	199,415	48.8	864.01

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 170,955百万円 20年3月期 167,188百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期				15.00	15.00
21年3月期					
21年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	200,000		9,500		8,500		4,300		22.22
通期	418,000	1.0	23,000	3.6	21,500	4.0	11,000	3.9	56.85

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下の通りであります。

連結(新規)2社(除外)0社 持分法(新規)18社(除外)0社

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの) 会計基準等の改正に伴う変更 有 以外の変更 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 197,202,300株 20年3月期 197,202,300株

期末自己株式数 21年3月期第1四半期 3,714,347株 20年3月期 3,700,148株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 193,497,770株 20年3月期第1四半期 193,548,587株

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## (将来に関する記述等についてのご注意)

(1) 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期は、いまだ金融・資本市場における不安定な状況が続くなか、原油及び原材料価格の高騰の影響もあり、世界経済、日本経済ともに減速傾向が強まりました。

食品・飲料・酒類業界においては、原材料価格の高騰等により商品価格の値上げが相次いでおります。また、消費者の皆様の食への関心の高まりを受けて、食の安全・安心への取り組みがますます求められております。

このような状況下において、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ関連調味料が伸長する一方で、しょうゆが、前年度末の価格改定に伴う仮需要の反動を受けて苦戦いたしました。コカ・コーラ事業は前年同期を上回りましたが、(株)紀文フードケミファの飲料は苦戦いたしました。海外については、しょうゆや食料品卸売事業が引き続き好調を維持しております。また利益面では、原材料価格の高騰の影響を大きく受けました。その結果、当第 1 四半期の連結業績は次の通りとなりました。

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第 1 四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	19年 4 月 1 日～ 19年 6 月 30 日		20年 4 月 1 日～ 20年 6 月 30 日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	99,830	100.0	99,699	100.0	△ 131	99.9	—	△ 4,151	4,020	104.0
営 業 利 益	5,929	5.9	4,614	4.6	△ 1,315	77.8	△ 1.3	△ 484	△ 830	86.0
経 常 利 益	5,966	6.0	4,586	4.6	△ 1,379	76.9	△ 1.4	△ 438	△ 941	84.2
四半期純利益	3,188	3.2	2,757	2.8	△ 430	86.5	△ 0.4	△ 344	△ 85	97.3
	US\$ 120.70		104.13		△ 16.57					

## &lt;所在地別セグメント&gt;

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第 1 四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	19年 4 月 1 日～ 19年 6 月 30 日		20年 4 月 1 日～ 20年 6 月 30 日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国 内	売上高	71,689	100.0	71,140	100.0	△ 549	99.2	—	—	△ 549	99.2
	営業利益	2,411	3.4	895	1.3	△ 1,516	37.1	△ 2.1	—	△ 1,516	37.1
海 外	売上高	32,193	100.0	33,769	100.0	1,576	104.9	—	△ 4,306	5,883	118.3
	営業利益	3,591	11.2	3,784	11.2	193	105.4	0.0	△ 484	677	118.9
セグメント間消去	売上高	△ 4,052	100.0	△ 5,210	100.0	△ 1,158	—	—	154	△ 1,313	—
	営業利益	△ 73	—	△ 66	—	7	—	—	0	7	—
連 結 計	売上高	99,830	100.0	99,699	100.0	△ 131	99.9	—	△ 4,151	4,020	104.0
	営業利益	5,929	5.9	4,614	4.6	△ 1,315	77.8	△ 1.3	△ 484	△ 830	86.0
	US\$ 120.70		104.13		△ 16.57						

<事業の種類別セグメント>

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第 1 四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	19年 4 月 1 日～ 19年 6 月 30 日		20年 4 月 1 日～ 20年 6 月 30 日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
食料品製造 ・販売	売上高	52,565	100.0	50,178	100.0	△ 2,387	95.5	—	△ 1,633	△ 753	98.6
	営業利益	4,287	8.2	2,935	5.9	△ 1,352	68.5	△ 2.3	△ 357	△ 994	76.8
食料品卸売	売上高	19,173	100.0	21,301	100.0	2,128	111.1	—	△ 2,523	4,651	124.3
	営業利益	1,021	5.3	1,291	6.1	269	126.4	0.8	△ 126	396	138.8
コ・コラ	売上高	26,296	100.0	26,769	100.0	473	101.8	—	—	473	101.8
	営業利益	284	1.1	150	0.6	△ 134	53.0	△ 0.5	—	△ 134	53.0
そ の 他	売上高	3,908	100.0	3,497	100.0	△ 411	89.5	—	3	△ 414	89.4
	営業利益	338	8.7	226	6.5	△ 112	66.9	△ 2.2	0	△ 111	67.0
セグメント間消去	売上高	△ 2,113	100.0	△ 2,047	100.0	65	—	—	1	63	—
	営業利益	△ 3	—	10	—	13	—	—	0	13	—
連 結 計	売上高	99,830	100.0	99,699	100.0	△ 131	99.9	—	△ 4,151	4,020	104.0
	営業利益	5,929	5.9	4,614	4.6	△ 1,315	77.8	△ 1.3	△ 484	△ 830	86.0
	US\$	120.70		104.13		△ 16.57					

(注) 欧州の連結子会社 5 社 (JFC INTERNATIONAL (EUROPE) GmbH, JFC DEUTSCHLAND GmbH, JFC (UK) LIMITED, JFC FRANCE S. A. R. L., JFC RESTAURANT GmbH) は、決算期の変更を行っており、連結損益計算書の対象期間は、当第 1 四半期が平成 20 年 4～6 月、前年同四半期が平成 19 年 1～3 月となっております。

各事業別セグメントの状況は次の通りであります。

(食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ等のしょうゆ関連調味料部門、トマト加工品・野菜果実飲料等のデルモンテ部門、みりん・ワイン等の酒類部門、豆乳飲料・業務用食材・米国市場における健康食品等のその他食料品部門からなり、国内外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の業績の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

国内においては、加工用分野が大型容器ローリーの新規開拓等で売上を伸ばし、順調に推移いたしました。価格改定にともなう仮需要の反動の影響があり、全体として売上は減少いたしました。

海外においては、北米市場では、家庭用・業務用・加工用各分野とも売上が引き続き順調に伸びております。欧州市場においても、重点市場であるドイツ・イギリス・フランスで好調な実績を確保するとともに、急速な経済発展を遂げる中東欧・ロシア市場の貢献もあり、大幅に伸長いたしました。アジア・オセアニア市場は、前年同期の売上を下回りました。

■しょうゆ関連調味料部門

つゆ類は、家庭用分野は、「本つゆ」を中心に順調に推移いたしました。「本つゆ 香り白だし」も好調に売上を伸ばし、全体として前年同期の実績を上回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」が好調に推移し、新商品の「たまねぎおろししょうゆ」も貢献し、全体として前年同期の実績を大きく上回りました。また、「うちのごはん」は「和風そうざいの素」の新商品「豚の甘みそ炒め」、新シリーズの「混ぜごはんの素」の 3 品の発売や積極的な店頭販促活動により、前年同期の実績を大きく上回りました。

■デルモンテ部門

国内においては、トマトケチャップ等のトマト加工品は、家庭用分野の好調な売上により、前年同期を上回りました。また、飲料については、既存のトマトジュースやその他の飲料が苦戦いたしました。ソース類は、家庭用分野が健闘し、前年同期を上回りました。

海外においては、中国・韓国の売上が減少し、全体として前年同期を下回りました。

■酒類部門

本みりんは、売上が前年同期に及びませんでした。ワインは、国産ぶどう 100%プレミアムワインが順調に推移いたしました。加工・業務用分野のワインが振るわず、ワイン全体としては、前年同期を下回りました。

## ■その他食料品部門

国内においては、豆乳飲料は、5月の価格改定以降、対プライベートブランド等との価格差から、大型容器を中心に売上が減少いたしました。

北米市場における健康食品事業は、主要品目である栄養補助食品を中心に、堅調に推移いたしました。

以上の結果、食料品製造・販売事業の売上高は501億7千8百万円（前年同期比95.5%）と、営業利益は29億3千5百万円（前年同期比68.5%）と、ともに前年同期を下回りました。

### （食料品卸売事業）

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米市場では、引き続き日本食市場が拡大し、好調に売上が伸びました。また、欧州市場においても、日本食ブームが引き続き拡大し、順調な伸びを示しております。アジア・オセアニア市場も好調に推移しております。

この結果、食料品卸売事業の売上高は213億1百万円（前年同期比111.1%）、営業利益は12億9千1百万円（前年同期比126.4%）と、ともに前年同期を上回りました。

### （コカ・コーラ事業）

当事業は、連結子会社である利根コカ・コーラボトリング(株)が中心となり、千葉・茨城・栃木の3県を販売エリアとして、コカ・コーラ等の清涼飲料を製造・販売しております。

清涼飲料業界は、依然として厳しい環境ではありますが、きめ細やかな販売促進活動などにより、売上は前年同期を上回りました。

この結果、コカ・コーラ事業の売上高は267億6千9百万円（前年同期比101.8%）と前年同期を上回りましたが、営業利益は1億5千万円（前年同期比53.0%）と前年同期を下回りました。

### （その他の事業）

当事業は、医薬品原料、臨床診断薬、ヒアルロン酸などの化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業等を行っております。

臨床診断薬は着実に売上が伸びましたが、医薬品原料等が振るいませんでした。また、ヒアルロン酸は、医薬品用途が順調に推移し、前年同期を上回りました。運送事業は出荷の減少に伴い、業績が前年同期を下回りました。

この結果、その他の事業の売上高は34億9千7百万円（前年同期比89.5%）、営業利益は2億2千6百万円（前年同期比66.9%）と、ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高は996億9千9百万円（前年同期比99.9%）、営業利益は46億1千4百万円（前年同期比77.8%）、経常利益は45億8千6百万円（前年同期比76.9%）、当第1四半期純利益は27億5千7百万円（前年同期比86.5%）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,721億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ298億8千2百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券、有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債の部は、1,692億6千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ263億9千4百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産の部は、2,029億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億8千8百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定等によるものであります。

### (2)キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、320億7千5百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べ現金及び現金同等物が10億1千1百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、24億1千7百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、減価償却費によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、306 億 4 百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出及び有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、258 億 6 百万円の収入となりました。これは主に、配当金の支払による支出があったものの、短期借入れによる収入があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績は、平成 20 年 3 月期決算短信（平成 20 年 4 月 24 日開示）により開示を行った業績予想の通りに推移しており、業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

また、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成 20 年 6 月 24 日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下の通りであります。

連結範囲及び持分法の適用範囲の異動状況

連結	(新規)	テラヴェール(株)	(非連結子会社から連結子会社に変更)
		PACIFIC MARKETING ALLIANCE, INC.	(非連結子会社から連結子会社に変更)
	(除外)	なし	
持分法	(新規)	理研ビタミン(株) 他17社	
	(除外)	なし	

欧州の連結子会社 5 社（JFC INTERNATIONAL (EUROPE) GmbH、JFC DEUTSCHLAND GmbH、JFC (UK) LIMITED、JFC FRANCE S. A. R. L.、JFC RESTAURANT GmbH）は、当連結会計年度より決算日を 12 月 31 日より 3 月 31 日に変更しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第 1 四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

四半期財務諸表作成に特有の会計処理

① 後入先出法における売上原価修正

当社は、後入先出法を棚卸資産の評価方法として採用しており、当第 1 四半期連結会計期間末日における棚卸資産の数量が連結会計年度の期首の数量より少ないものの、連結会計年度末日までに不足分を補充することが合理的に見込まれているため、当該不足分については再調達価額に基づいて売上原価を加算し、その加算した金額を流動負債（その他）として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の売買目的で保有するたな卸資産については、従来、当社のしょうゆの原材料(包装材料を除く)・仕掛品・製品は後入先出法による低価法、その他は主として総平均法による低価法によっていましたが、当第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号)が適用されたことに伴い、当社のしょうゆの原材料(包装材料を除く)・仕掛品・製品は後入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、その他は主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

当社及び国内連結子会社は所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第 13 号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 16 号)を当第 1 四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理に変更し、有形固定資産の「その他」に計上しております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

④ 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

当第 1 四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第 18 号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

⑤ 有形固定資産の耐用年数の変更

(追加情報)

当社及び一部の国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、当第 1 四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産について法人税法に基づく耐用年数に変更を行っております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,207	34,038
受取手形及び売掛金	47,903	49,147
有価証券	130	130
商品	18,007	16,884
製品	4,662	4,801
原材料	2,605	2,486
仕掛品	5,923	4,833
繰延税金資産	5,193	5,171
その他	13,347	12,445
貸倒引当金	△ 972	△ 937
流動資産合計	130,008	128,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,048	49,599
機械装置及び運搬具(純額)	33,817	34,546
土地	32,271	32,287
建設仮勘定	7,585	6,085
その他(純額)	12,537	11,523
有形固定資産合計	136,260	134,042
無形固定資産		
のれん	23,764	24,068
商標権	1,239	1,445
その他	2,896	3,166
無形固定資産合計	27,900	28,680
投資その他の資産		
投資有価証券	65,846	38,326
長期貸付金	3,300	3,216
繰延税金資産	2,987	2,987
その他	9,382	9,489
貸倒引当金	△ 3,516	△ 3,455
投資その他の資産合計	78,000	50,564
固定資産合計	242,161	213,287
資産合計	372,169	342,287

(単位 百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,942	17,365
短期借入金	41,259	11,996
未払金	14,605	15,954
未払法人税等	2,411	2,351
賞与引当金	1,714	2,477
役員賞与引当金	38	142
その他	7,366	7,034
流動負債合計	84,338	57,323
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	1,496	1,592
繰延税金負債	4,088	3,585
退職給付引当金	9,001	9,293
役員退職慰労引当金	1,832	2,186
その他	8,508	8,890
固定負債合計	84,927	85,548
負債合計	169,265	142,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	5,793	5,791
利益剰余金	154,966	154,947
自己株式	△ 2,949	△ 2,928
株主資本合計	169,409	169,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,537	6,030
繰延ヘッジ損益	76	10
為替換算調整勘定	△ 4,638	△ 7,834
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△ 428	△ 427
評価・換算差額等合計	1,546	△ 2,221
新株予約権	67	67
少数株主持分	31,880	32,159
純資産合計	202,904	199,415
負債純資産合計	372,169	342,287



(2) 四半期連結損益計算書

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

当第 1 四半期連結累計期間	
(自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)	
売上高	99,699
売上原価	60,786
売上総利益	38,912
販売費及び一般管理費	34,298
営業利益	4,614
営業外収益	
受取利息	149
受取配当金	325
持分法による投資利益	58
受取賃貸料	158
その他	818
営業外収益計	1,510
営業外費用	
支払利息	305
その他	1,232
営業外費用計	1,537
経常利益	4,586
特別利益	
有形固定資産売却益	967
特別利益計	967
特別損失	
投資有価証券評価損	119
退職特別加算金	47
たな卸資産評価損	33
C I 変更費用	202
特別損失計	402
税金等調整前四半期純利益	5,151
法人税等	2,365
少数株主利益	28
四半期純利益	2,757

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	5,151
減価償却費	4,024
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△ 187
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額 (△は減少)	△ 790
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△ 354
受取利息及び受取配当金	△ 474
支払利息	305
持分法による投資損益 (△は益)	△ 58
有形固定資産売却損益 (△は益)	△ 967
有形固定資産除却損	125
投資有価証券評価損益 (△は益)	119
売上債権の増減額 (△は増加)	2,176
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 1,260
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 1,274
その他	△ 2,452
(小計)	4,082
利息及び配当金の受取額	438
利息の支払額	△ 143
法人税等の支払額	△ 1,961
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,417
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 5,081
有形固定資産の売却による収入	1,302
無形固定資産の取得による支出	△ 114
投資有価証券の取得による支出	△ 26,702
投資有価証券の売却による収入	28
貸付けによる支出	△ 76
貸付金の回収による収入	133
その他	△ 94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30,604
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	29,558
長期借入金の返済による支出	△ 403
自己株式の取得による支出	△ 33
配当金の支払額	△ 2,915
少数株主への配当金の支払額	△ 358
その他	△ 40
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,806
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,011
現金及び現金同等物の期首残高	32,984
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 22
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	125
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,075

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位 百万円)

	食料品製造 ・販売	食料品卸売	コカ・コーラ	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	49,944	21,246	26,712	1,795	99,699	—	99,699
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	233	54	57	1,701	2,047	(2,047)	—
計	50,178	21,301	26,769	3,497	101,746	(2,047)	99,699
営業利益	2,935	1,291	150	226	4,604	10	4,614

【所在地別セグメント情報】

当第 1 四半期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

(単位 百万円)

	日本	北米	その他の 地域	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	67,006	25,200	7,492	99,699	—	99,699
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,133	1,257	133	5,524	(5,524)	—
計	71,140	26,457	7,626	105,223	(5,524)	99,699
営業利益	895	2,869	915	4,680	(66)	4,614

【海外売上高】

当第 1 四半期連結累計期間 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日)

	北 米	その他の地域	計
	百万円	百万円	百万円
海外売上高	25,165	8,836	34,002
連結売上高			99,699
連結売上高に占める 海外売上高の割合	% 25.2	% 8.9	% 34.1

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期にかかる財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位 百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
売 上 高	99,830
売 上 原 価	60,135
売 上 総 利 益	39,694
販売費及び一般管理費	33,764
営 業 利 益	5,929
営 業 外 収 益	
受 取 利 息	169
受 取 配 当 金	315
持分法による投資利益	47
受 取 賃 貸 料	138
そ の 他	627
営 業 外 収 益 計	1,298
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	236
そ の 他	1,025
営 業 外 費 用 計	1,261
経 常 利 益	5,966
特 別 利 益	
投資有価証券売却益	358
特 別 利 益 計	358
特 別 損 失	
減 損 損 失	44
退 職 特 別 加 算 金	17
米国進出50周年記念事業費	491
特 別 損 失 計	553
税金等調整前四半期純利益	5,771
法 人 税 等	2,396
少 数 株 主 利 益	186
四 半 期 純 利 益	3,188

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 1 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日～6 月 30 日)

(単位 百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,771
減価償却費	3,922
固定資産減損損失	44
退職給付引当金の増減額	△ 60
役員退職慰労引当金の増減額	△ 13
受取利息及び受取配当金	△ 485
支払利息	236
持分法による投資損益	△ 47
投資有価証券売却益	△ 358
固定資産除却損	78
売上債権の増減額	△ 823
たな卸資産の増減額	555
仕入債務の増減額	362
その他の	△ 2,504
(小計)	6,679
利息及び配当金の受取額	571
利息の支払額	△ 290
法人税等の支払額	△ 2,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,508
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 3,649
有形固定資産の売却による収入	42
無形固定資産の取得による支出	△ 102
投資有価証券の取得による支出	△ 1,660
投資有価証券の売却による収入	377
貸付けによる支出	△ 9
貸付金の回収による収入	257
その他の	222
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,521
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額	4,042
長期借入金の返済による支出	△ 347
自己株式の取得による支出	△ 59
配当金の支払額	△ 2,916
少数株主への配当金の支払額	△ 356
その他の	△ 3
財務活動によるキャッシュ・フロー	359
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	404
V. 現金及び現金同等物の増減額	749
VI. 現金及び現金同等物期首残高	23,474
VII. 連結子会社の決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額	△ 55
VIII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	884
IX. 現金及び現金同等物の四半期末残高	25,052

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第 1 四半期連結累計期間 (平成19年 4 月 1 日～ 6 月30日)

(単位 百万円)

	食料品製造 ・販売	食料品卸売	コカ・コーラ	その他	計	消去又は 全社	連結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,314	19,116	26,267	2,132	99,830	—	99,830
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	56	29	1,776	2,113	(2,113)	—
計	52,565	19,173	26,296	3,908	101,943	(2,113)	99,830
営業費用	48,277	18,151	26,011	3,569	96,010	(2,109)	93,900
営業利益	4,287	1,021	284	338	5,933	(3)	5,929

[所在地別セグメント情報]

前第 1 四半期連結累計期間 (平成19年 4 月 1 日～ 6 月30日)

(単位 百万円)

	日本	北米	その他の 地域	計	消去又は 全社	連結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	67,893	24,873	7,063	99,830	—	99,830
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,795	389	116	4,302	(4,302)	—
計	71,689	25,263	7,180	104,132	(4,302)	99,830
営業費用	69,277	22,477	6,374	98,129	(4,228)	93,900
営業利益	2,411	2,786	805	6,003	(73)	5,929